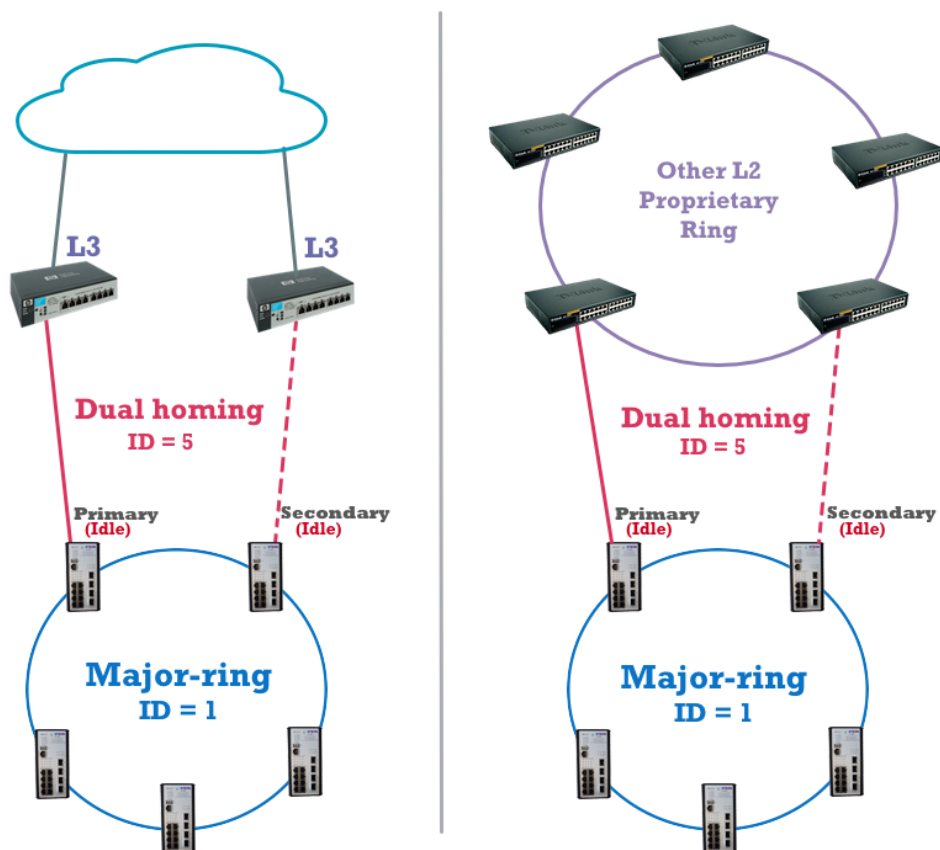


Dual-homing ケーススタディ

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1 版

1.はじめに



Dual-homing 設定時の注意事項

- 1) Primary ルートと Secondary ルートは、ITU-ring 上の別々のデバイスに接続する必要があります。
- 2) Primary ルートと Secondary ルートは、単体で運用することが出来ず相互に存在する状態で運用する必要があります。
- 3) Primary ルートと Secondary ルートは、相互に同じ ID を設定する必要があり ITU-ring の ID とは別である必要があります。
- 4) Dual-homing では、正常な状態のステータスは Idle となっており、Secondary ルートがブロッキングされています。
- 5) Primary ルートに障害が発生した場合(Protection)、Primary ルートはブロッキングされ、Secondary ルートが有効化されます。
- 6) ITU Ring と Dual-homing が有効化されている場合は、ITU Ring の Detect Miswiring 機能は必ず無効化する必要があります。

ケース 1

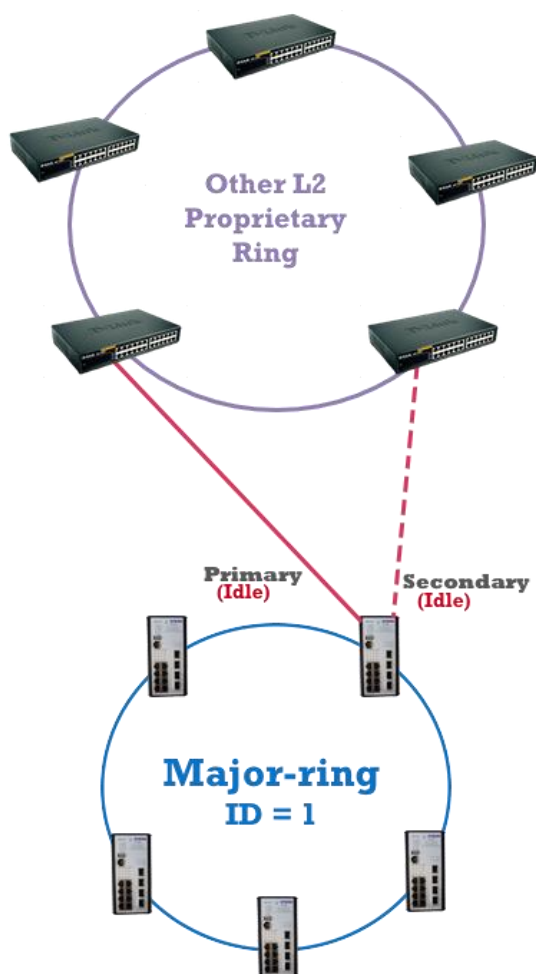


Fig 1-1a

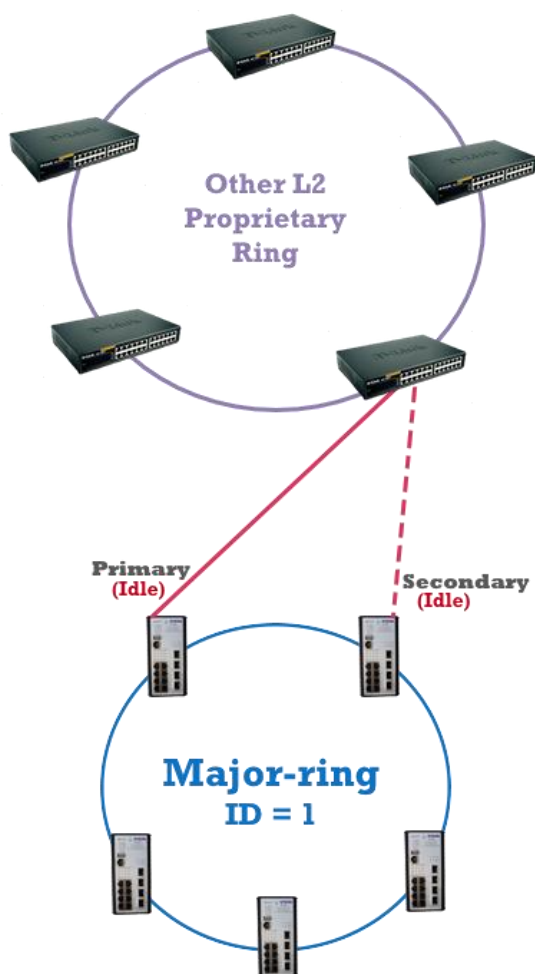


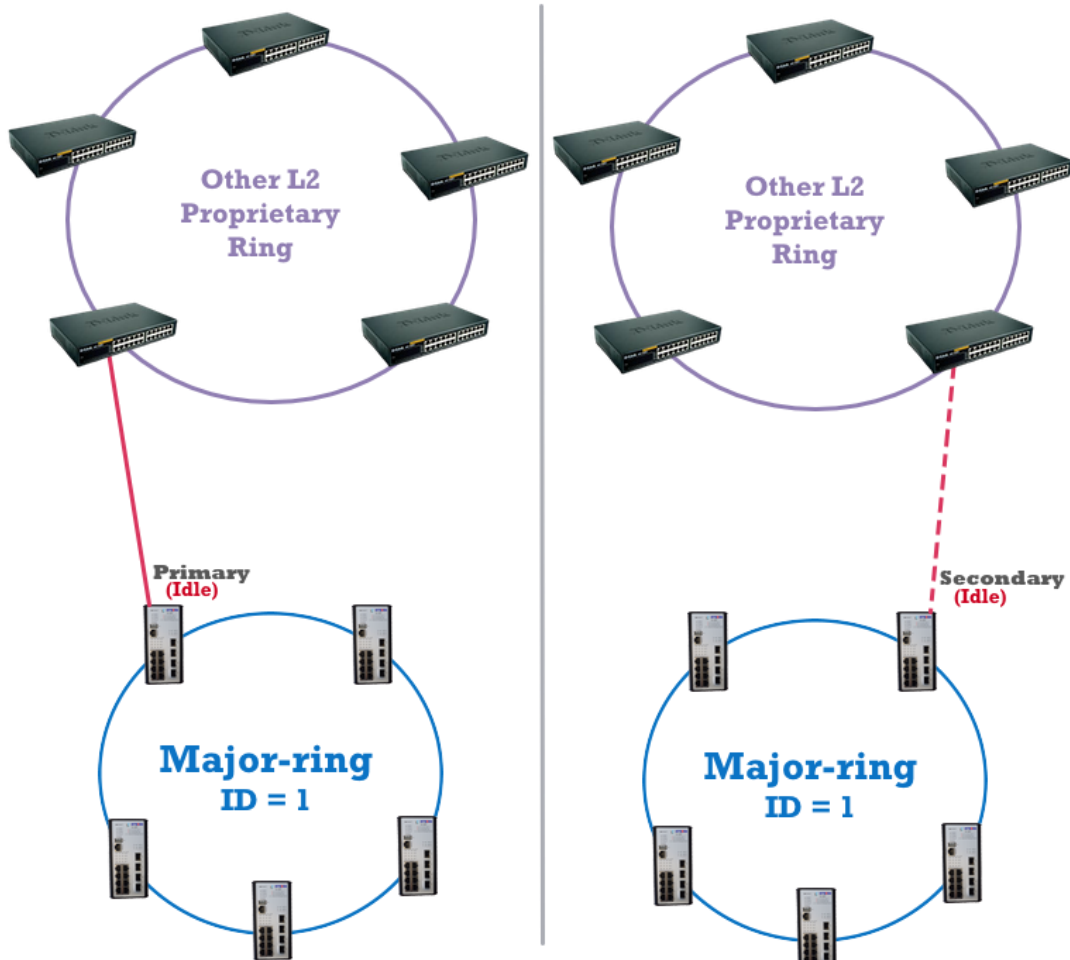
Fig 1-1b

ERROR: 左の構成「Fig 1-1a」は不可となります。

- ❑ Primary ルートと Secondary ルートは、ITU-ring 上の別々のデバイスに接続する必要があります。

CORRECT: 右の構成「Fig 1-1b」は利用可能です。

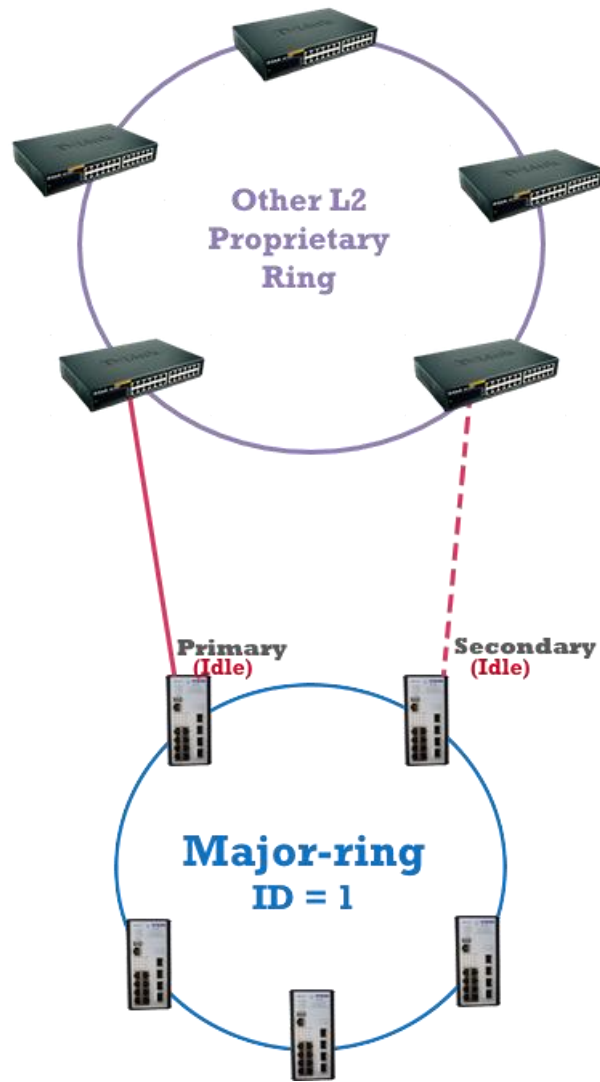
ケース 2



ERROR: 本構成は不可となります。

- ❑ Primary ルートと Secondary ルートは、単体で運用することが出来ず、相互に存在する状態で運用する必要があります。

ケース 3



Note1:

- Dual-homing では、正常な状態のステータスは Idle となっており、Secondary ルートがブロッキングされています。

Dual-homing における状態の遷移

ステップ 1:

Primary ルートあるいは Secondary ルートに障害が発生した場合、状態は idle から protection に遷移します。

ステップ 2:

障害の発生したルートが回復した場合、状態は protection から pending に遷移します。

ステップ 3:

安定的な状態が 10 秒以上続いた場合、状態は pending から idle に遷移します。

